

発行•監修

全国建設業協同組合連合会

会員

中讃建設業協同組合 西讃建設業協同組合 長尾建設業協同組合 高尾建設業協同組合 高知県建設業協同組合 佐賀県建設工業協同組合 佐賀県建設工業協同組合 財本県建設業協同組合 東建設業協同組合連合会 東建設事業協同組合連合会 沖縄県建設事業協同組合





【全建協連】別冊Vol.14

プラグション21 認証取得の推進

目次

1.エコアクションとは ・・・・・・・	2
2.全建協連「エコアクション21認証・登録支援プログラム」発足・・・・・	
3.活動状況と、 認証取得者数の報告・・・・・・・	
4.環境省 まとめ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
5. フォローアップ研修・・・・・・・	10
6.全建協連の展開・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11





全国建設業協同組合連合会

■エコアクション21とは

環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム。

全ての事業者が、環境への取り組みを効果的、効率的に行うことを目的に、環境に取り組む仕組みを作り、取り組みを行い、それらを継続的に改善し、その結果を社会に公表するための方法について、一般に「PDCAサイクル」と呼ばれるパフォーマンスを継続的に改善する手法を基礎として、組織や事業者等が環境保全への取り組みを自主的に行うための方法。

■3つのポイント

中小の事業者でも容易に取組める

●「環境への負荷の自己チェックの手引き」・「環境配慮への取組みの自己チェック の手引き」を用い、事業者が自らの環境負荷に関する状況と、環境保全の具体的 な方法を簡単に把握できる。

環境配慮に必要な取組みがわかる

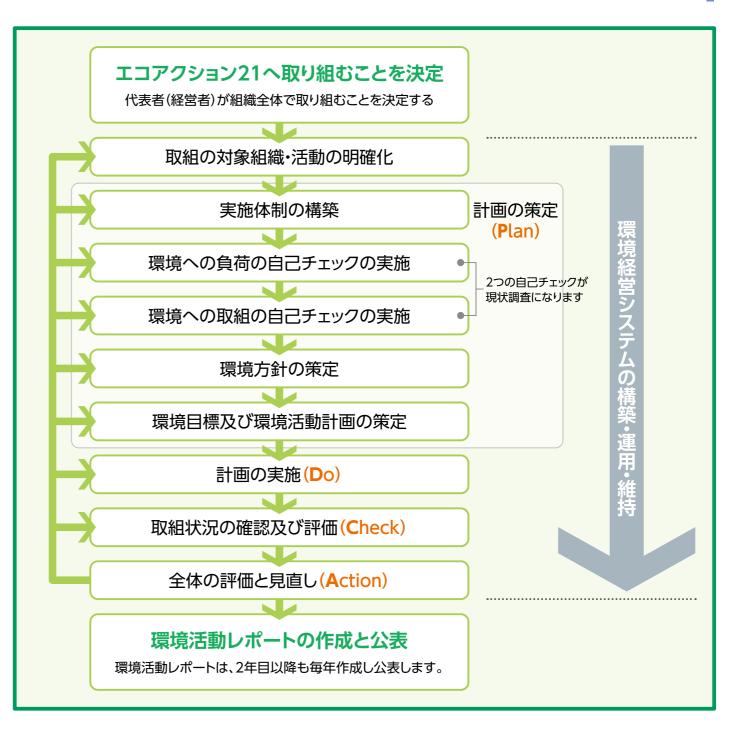
●把握すべき環境負荷の項目と取組みについて、CO₂や廃棄物の削減など環境経営にあたっての必須条件を定めている。初めての事業者でも無理なく具体的な環境保全活動を始められる。

環境コミュニケーションを実現できる

- ●「環境活動レポート」の作成を必須条件とすることで、事業者が環境への取組み 状況等を公表する環境コミュニケーションを行うことにより、取引先やお客様か らの信頼を得ることができる。
- ●環境活動レポートは、エコアクション 21 中央事務局のホームページに掲載され 一般の方々が閲覧可能。

エコアクション21中央事務局 http://www.ea21.jp/ea21/

■エコアクション21への取り組み方









認証・登録された事業者は、ロゴマークを使用することができます。



■業種別ガイドラインの位置づけ

業種別ガイドライン

建設業者向け

産業廃棄物処理業者向け

食品関連事業者向け

大学等高等教育機関向け

地方公共団体向け

建設業者向けガイドライン

エコアクション21ガイドラインに準拠して建設業者向けにわかりやすく取りまとめられたもの。

公共事業の入札参加の機会を増やすために取り組もうとする場合など、建設業者がエコアクション21の認証取得を円滑に進めるために有用。

事業規模、元請・下請等関係なく取り

建設業者向けガイドライン の適用事業者

土木工事業、建築工事業、大工工事業、 左官工事業、とび・土工工事業、石工 事業、屋根工事業、電気工事業、管工 事業、タイル・れんが・ブロツク工事業、 鋼構造物工事業、鉄筋工事業、ほ装工 事業、しゅんせつ工事業、板金工事業、 ガラス工事業、塗装工事業、防水工事 業、内装仕上工事業、機械器具設置工 事業、熱絶縁工事業、電気通信工事業、 造園工事業、さく井工事業、建具工事 業、水道施設工事業、消防施設工事業、 清掃施設工事業

■建設業が取組む必要性とメリット

取組みの必要性

- ●建設業は、社会基盤を担う産業であり、計画・設計〜施工〜改修〜解体といった「建築物・工作物等のライフサイクル」全体で環境問題と大きく係わっており、特に建設廃棄物については、全産業から排出され最終処分される廃棄物の約5分の1が建設工事に伴うものだと言われている。そのため、建設業者にはより積極的な環境への取り組みが求められている。
- ●公共工事入札に係る総合評価方式導入の増加や同方式への環境配慮項目の追加、 グリーン調達の推進など、官民ともに環境への配慮を必須項目として捉える環境 が形成されつつあり、受注確保の際に重要性を増してくると考えられる。

取組みのメリット

- ●建設会社が CO₂削減等に取り組むことにより、次のメリットが期待できる。
- ①企業・業界のイメージアップや企業評価の向上
- ②技術開発の促進、生産プロセスの効率化、省エネ化、コスト削減
- ③経審や総合評価の点数アップや金融機関の融資の優遇



全建協連総合補償制度ではエコアクション21の認証を受けている場合、 賦課金に5%割引を適用しています。

■建設業者向けガイドライン策定の経緯

環境省は、中小事業者等の幅広い事業者に対して、環境経営システムと環境コミュニケーションに取り組みやすい方法を提供するため、2004年に「エコアクション21環境経営システム・環境活動レポートガイドライン2004年版」を策定。

また、エコアクション21に適切に取り組む事業者を積極的に評価(認証・登録)するために、2004年10月にはエコアクション21中央事務局が設置され、環境省策定のガイドラインに基づく認証・登録制度が開始。さらに、環境経営の動向に合わせ、2009年11月に「エコアクション21ガイドライン2009年版」として、ガイドラインの改訂を行った。一方、エコアクション21中央事務局では、業種特性を踏まえた、よりわかりやいものとして、2007年8月に「エコアクション21 2004年版準拠-環境経営システム・環境活動レポートガイドラインー建設業向けマニュアル(試行版)」を策定し、建設業者向けに運用してきた。その後、ガイドライン2009年版への改訂を受けて、エコアクション21建設業者向けガイドラインを暫定版として策定。

■全建協連

エコアクション21認証・登録支援プログラム

【開始】平成22年度



1. 趣旨・目的

会員組合と連携して各地で勉強会を実施し、多くの所属員企業が一斉にエコアクション 21認証・登録に取り込むことにより、CO₂削減、エネルギーコストなどの削減を実現し、併せて「環境経営」の証が得られる仕組みとして展開する。

エコアクション21認証・登録により入札資格審査や総合評価の点数アップなどの入札契約における優遇措置や一部の金融機関からの融資に係る金融優遇が期待でき、また企業・業界のイメージアップ、企業評価の向上、技術開発の促進、生産プロセスの効率化、コストの削減などにも繋がるものと考える。

2. プログラムの概要

会員組合とエコアクション21中央事務局の協力を得て、各地で勉強会を開催し、講師としてエコアクション21審査人を派遣。初回説明会と全5回程度のスクール形式で勉強会を 開催。

平成28年度からは環境省が実施する「エコアクション21CO₂削減プログラム(Eco-CRIP)」を新たに導入することで、勉強会をグループ形式ではなく、担当支援相談人が参加者の会社に訪問し、マンツーマンで取り組むことも可能とした。

勉強会に派遣する審査人等に係る経費や会場費などは全建協連が負担。

参加所属員企業は初回説明会から10か月~1年後には、審査を経て、認証登録を完了。

4

■勉強会実施状況•実績

組合名	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
協同組合八戸中央建設業協会	6	_	_	2	_	_	_
盛岡市建設業協同組合	_	_	_	_	6	5	☆
秋田県建設事業協同組合連合会	_	7	4	2	_	_	_
群馬県建設事業協同組合	_	15	10	7	13	5	4
千葉県建設業協同組合連合会	_	☆	_	_	_	_	_
長野県建設事業協同組合連合会	13	7	5	_	_	_	_
静岡県建設事業協同組合連合会	17	9	7	3	9	11	_
滋賀県建設業協同組合	15	7	6	☆	_	_	_
協同組合坂浅土木工業会	7	_	_	_	_	_	_
高知県建設業協同組合	25	15	17	8	6	_	_
山口県建設業協同組合連合会	_	8	6	_	_	_	_
長崎県建設工業協同組合	_	8				_	_

数字は参加所属員企業数

☆は説明会のみ開催

■建設業の環境負荷低減に向けた

具体的な取組



自社施設の維持・管理

- ●施設の省エネルギー改修
- ●ガスヒートポンプの導入
- ●自動制御設備の導入
- ●低負荷運転時の運転台数制御
- ●廃熱の利用
- ●適切な除雪
- ●緑化・植樹



計画·設計

- ●建設躯体からの熱損失の低減
- ●省エネルギー機器、設備の選定、導入
- ●自然エネルギーの積極的な活用の推進
- ●屋上緑化の提案
- ●自然材料等の採用
- ●リサイクル材の採用
- ●ゆとりある施設計画
- ●自然環境との共生への配慮
- ●シックハウス対策
- ●交通公害等防止への配慮
- ●耐久性に優れた材料機器・システム の採用

■認証取得実績

組合名	企業数	組合名	企業数
協同組合八戸中央建設業協会	7	静岡県建設事業協同組合連合会	31
盛岡市建設業協同組合	4	滋賀県建設業協同組合	29
秋田県建設事業協同組合連合会	9	協同組合坂浅土木工業会	6
群馬県建設事業協同組合	26	高知県建設業協同組合	71
長野県建設事業協同組合連合会	21	長崎県建設工業協同組合	1



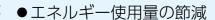




●省エネ型建設機械・車両等の利用推進

- ●建設機械・車両等の適正運転の徹底
- ●アイドリングストップの徹底
- ●建設現場の事務所等における省エネ対策 の推進
- ●建設現場での分別の徹底
- ●コンクリート・木材・アスファルト・ その他の建設副産物のリサイクル
- ●周辺現場との連携による効率的な搬出
- ●低騒音・低振動工法の採用
- ●施工時間への配慮
- ●建設廃棄物の適正処理
- ●従業員教育の徹底
- 関係事業者への協力要請の徹底
- ●周辺住民等への説明会や文書の配布、 戸別訪問等の実施

オフィス業務



- ●電気使用量の筋減
- ●設備等の省エネルギー管理・設 定・更新
- ●車両の使用に伴う燃料使用量の節減
- ●環境に配慮した商品の導入
- ●用紙のリサイクル、使用節減
- ●飲料容器のリサイクル、使用節減
- ●節水・水の効率的な利用
- ●節水設備の導入

技術開発

- ●環境保全型施工技術の開発
- ●環境保全型資材の開発
- ●環境保全型システムの開発

6

全国建設業協同組合連合会群馬県建設事業協同組合

緩やかな連携が 人材育成と環境活動を つなげています

小林工業株式会社



全国建設業協同組合連合会 会長 青柳 剛

全国建設業協同組合連合会(略称:全建協連)は、全国の41の事業協同組合を会員とし、「人を大切にする建設業」を目指した協同組合活動を行っています。業界として必須とされる環境への取り組みは、教育情報事業の一環として展開し、各会員組合と連携することにより、所属員企業のエコアクション21認証・取得を支援しています。群馬県建設事業協同組合(略称:群馬協組)は、所属員企業と全建協連をつなぎ、エコアクション21認証取得の勉強会を開催し、所属員企業の環境に対する行動意識を高めるための架け橋になっています。

そして、この勉強会に参加したのが、小林工業株式会社です。開催された無料勉強会の参加をきっかけに認証を取得、活動一年目にしてその活動事例を全国大会で発表するまでに成長した企業です。個社を超えた"緩やかな連携"が、地球に優しい建設企業を増やし、業界全体のイメージアップに貢献しています。



小林工業株式会社 代表取締役社長 小林 要一

全国建設業協同組合連合会会 会員組合・所属企業 に向けてGPを開催 会員組合 群馬県建設事業協同組合 会員組合 所属企業 (建設会社) A社 の会員組合が GPの場を提供 所属企業 (建設会社)

全国建設業協同組合連合会(全建協連)

〒104-0032

東京都中央区八丁堀 2-5-1 東京建設会館4F

群馬県建設事業協同組合(群馬協組)

〒371-0846 群馬県前橋市元総社町 2-5-3

小林工業株式会社

〒371-0024 群馬県前橋市表町 2-11-8 (本社)

【事業内容】総合建設業

【EA21 認証・登録番号】

0010194(最新の環境活動レポートは

http://www.ea21.jp/list/pdfn/0010194.pdf &

小林工業株式会社

ご覧ください)

全国建設業協同組合連合会/群馬県建設事業協同組合

環境は時代の要請。より多くの会員組合および所属員企業が環境問題に取り組めるよう 「エコアクション21認証・取得支援プログラム」を実施しています

低コストで認証を取得しやすいのがエコアクション21の特長です。全建協連では、教育情報事業の一環として「エコアクション21認証・取得支援プログラム」を実施し、会員組合の協力の元、認証取得のための勉強会を年4回無料で開催し、取得を目指す会員組合・所属員企業をサポートしています。

さらに、全建協連の事業のひとつである総合補償制度では、認証取得企業に対して5%割引を実施し、取得後のメリットを創出することにより、所属員企業が認証取得を前向きに検討できる環境を整えています。

地元の会員組合がエコアクション21の勉強会を開催することにより、地域 密着性も高く、「参加しやすい」と好評を得ています。

加えて建設業に特化した内容で実施しているため、受講する所属員企業にとっては、有意義な勉強会になっていると思います。さらに、昨年度より実施されたEco-CRIPを新たに採り入れることでマンツーマン形式の勉強会スタイルを可能とし、少人数の参加企業しか集まらない会員組合でも、勉強会の開催を容易にしました。

地元群馬で組合主催の勉強会に 参加できたことが始まりです

私どもの建設業は、環境問題に深く関わっていますが、東日本大震災を転機に環境への意識や貢献について、社内でも話題に上るようになりました。ただ、何をどうすればよいのか、正直まったくわかりませんでした。そうしたなか、組合主催でエコアクション21認証・取得のための勉強会を実施していただいたことが、とても大きかったと思います。告知も丁寧で、何よりいつもお世話になっているという安心感、地元ならではの親近感も大きかったように思います。自分たちの力で一から始めるのでは、なかなか難しいのではないでしょうか。

身近なできることから始める

「身近なできることから始める」をキーワードにして、社員ひとりひとりが省エネルギー・省資源化に高い意識を持ち、日々環境活動に取り組んでいます。こうした、形式的ではなく実務的なところもエコアクション21を選んだ理由のひとつです。私どものような小さな組織がひとつにまとまるためには、何かシンボル的な、ツール的なものがきっかけだったりするのですが、エコアクション21はそれにぴったりのしくみでした。

エコアクション21は「見える・考えるためのツール」環境活動の見える化が職員・社員のモチベーションにつながるのはエコアクション21の効果と言えるのではないでしょうか

エコアクション21は「見える・考えるためのツール」。エコアクション21による環境活動の見える化は、職員や社員のモチベーションにつながっていると思います。みんながバラバラではなく、ひとつにまとまることのできるもの――そういうツールでもあるエコアクション21を、多くの会員組合、所属員企業が取得することで、企業の求心力も向上するのではないでしょうか。エコアクション21はそうしたツールとして大変有効だと考えています。

群馬県には県の推進する「群馬GS認定制度」がありますが、エコアクション21 の取得が容易であるため、企業の差別化にはエコアクション21が有利という意見 もあります。群馬協組自身が、エコアクション21認証を取得することは、環境問題 の解決のみならず、取得した所属員企業の価値や評価を向上させ、企業の経済活動への効果・貢献が見込まれると考えています。

さらに、全建協連が行ったアンケートでは「環境活動が会社のイメージアップにつながった」「環境に対する社員の意識が向上した」の声も多く集まり、エコアクション21の波及効果に驚いています。

ローが、県及び地域を越えた所属員企業の連携、横のつながりを生むきっかけになればと考えています。人を大切にして育てていくためには「やめないこと」、「これからも仕掛け続ける」ことが大事なのだと思います。所属員企業の環境活動が継続、活性化され、業界全体のイメージアップが図れたらうれしい

見える化から見せる化へ 企業アピールにもつながっています

環境レポートを提出するというエコアクション21のルールは、社会貢献や環境に配慮した取り組みを、外部の方に知ってもらうきっかけになりました。それが企業イメージの向上、企業のブランド化につながり、さらに社員へとフィードバックされることで活動の励みになるという、とてもいいサイクルができ上がったと思います。

環境活動を可視化した「本業に関わる目標シート」をきっかけにエコアクション21全国大会に招待され、全国の企業の皆さんの前で自分たちの活動事例を発表できたことは、とても誇らしく、「少しは目立てたかな?」と感じています(笑)。

日々の仕事のなかでひとりひとりを成長させ、同時に業務改善や経費 削減などの環境経営につなげていけるのが、エコアクション21に取り組 む大きなメリットだと思います。

社員全員が同じ目標に向かって活動する、自分たちのできることをする、他の社員がやっていることが見えるなど、エコアクション21の特長的なしくみは、エコアクション21で環境活動を始めてから、そのメリットに気づかされました。



ITで省エネ・仕事の効率化を実現、環境活動へと 昇華させていきたい

今までは設備投資を含めたハード的な対応がメインでしたが、今後やりきってしまうことも考えられます。これからはハードからソフトへ、これまで疎くて、どことなく敬遠していた IT 化についてもしっかり勉強して、積極的に採り入れていこうと考えています。 具体的には仕事面でのソフト的な効率化、たとえば書類自体を不要にする、今まで5工程だった業務を3工程するといったことを、IT を使った業務改善で実現して、それを環境活動へと昇華していければ・・・今、活動の未来をそうイメージしていたりします。

社員の行動指針のひとつに「私は将来のビジョンを描き、常に向上心を持って自己改革に取り組みます」とありますが、環境活動においても、IT 化を含めたビジョンをしっかりと定めて、向上心を持って当たっていきたいと考えています。群馬県の所属員企業では、エコアクション21の認証取得企業が21社とまだ少ない状況と伺っています。全国大会での事例発表を励みに、協会の中でも環境配慮に進んだ企業、先駆的な企業として、モデルケースになれるように頑張っていきたいと思っています。

「やりっぱなし」からの脱却として認証取得後のフォローアップができたらいいですね

困難な課題ですがこれから挑戦していきたいです

これまで全建協連では勉強会を実施してエコアクション21の認証・取得を推進してきましたが、反面、勉強会までのサポートに終わってしまい、その後のフォローやフォローアップが不十分だったと感じています。人的にも費用的にも厳しい状況ですが、全国からエコアクション21の認証を取得された所属員企業に集まっていただき、研修・懇親の場を提供できたらいいなと思っています。

これは全国にネットワークを広げる、全建協連の強みでもあり、そうしたフォ

※環境省『エコアクション21で「わ」を創ろう』より抜粋 **。**

挑

戦

課

題

成

■フォローアップ研修

エコアクション21認証登録企業及びエコアクション21認証・登録支援プログラム参加企業者を対象に、フォローアップ研修を開催。

群馬県建設事業協同組合

日時 平成29年3月7日

場所 群馬県建設会館

挨拶 エコアクション21地域事務局群馬 責任者 熊倉 浩靖氏

講演 群馬大学教授 西薗 大実氏 「フロン排出抑制法への対応」

研修 「建設業者のためのエコアクション21」

講師 エコアクション21審査人/成田 佳生氏





静岡県建設事業協同組合連合会

日時 平成29年2月17日

場所 静岡県建設業会館

研修 「エコアクション21活動へのアドバイス」

講師 エコアクション21審査人/大田 良弘氏

情報交流



高知県(主催:高知商工会議所)

日時 平成29年1月24日・1月27日

場所 高知商工会議所・中村商工会議所

研修 エコアクション21事例発表

「認証登録者の為のエコアクション21フォローアップ」

講師 エコアクション21審査人/山﨑 正男氏

「認証登録制度の概要とその取組について

講師 エコアクション21審査人/伊藤 綱男氏





■エコアクション21今後の動向

新ガイドライン

●環境省では事業者の環境取り組みと経営との融合を促進し、環境経営の有効性を 一層高めることができるよう、現行版から改訂を行う。

ポイント

●取組み対象範囲の柔軟な対応

対象範囲の設定を考慮する際の優先順位としては、①全組織・全活動の認証、 ②段階的認証、③サイト認証の順番。まずは全組織・全活動を対象範囲とすることを原則とし、規模が比較的大きく一度に認証することが難しい場合には段階的 認証とし、そのいずれもが難しい場合はサイト認証とする。

- ●「経営に資する環境への取組の有効性の評価」を明確化
- ●環境経営システムであることを強調 「環境経営方針」「環境経営日標」

改訂は(案)であり、今後変更の可能性があります。

■全建協連の展開

多くの所属員企業が一斉にエコアクション21認証・登録に取り組むことにより、CO2削減、エネルギーコストなどの削減を実現し、併せて「環境経営」の証が得られる仕組みとしてエコアクション21の研修会を展開して7年目となります。

今後ますます環境へ取り組む姿勢は企業にとって強く求められるなか、所属員企業が常に断続的に取り組み、成果を挙げしっかりとした組織としての目標管理の効果を挙げるために、全建協連はこれからもサポートをしてまいります。



一般財団法人持続性推進機構エコアクション21 中央事務局より、エコアクション21の普及に取り組むことにより地球と地域の環境保全に貢献されたとして感謝状を受けました。

11

10